

2022年6月30日

報道関係各位

中部学院大学短期大学部
社会福祉学科

地域連携（せきの憩）産学連携（POLA エステインなゆた）

グループホームでファッションショーを開催

中部学院大学短期大学部社会福祉学科（学科長 吉川杉生）では、地域連携ならびに産学連携授業の一環として、グループホーム利用者のファッションショーを企画しました。学生らは、関市内にあるフロンティアの介護が運営する「せきの憩」の利用者に着替えやヘアメイクを施します。

企画のねらいは、グループホームの利用者の社会参加を促し、元気で生活していることを地域社会にPRすると共に、心身ともに活気を取り戻して心豊かな生活や笑顔を取り戻すことです。学生らはイベントの企画や実践を通して、高齢者との関わり方や幸せを考える機会になることを期待しています。

ファッションショー当日は、利用者の居室（参加者：女性5名）で、学生とヘアメイクの技術指導を受けているPOLA エステインなゆた（※）の協力を受け、同スタッフと学生がチームを組み、1時間以内で着替えやヘアメイクを行います。衣装はワンピースやラメの入ったジャケットなど、それぞれの利用者の皆さんにピアリングを行った内容に基づき、既存の衣装にアレンジを加えながら作製しました。

着替えとヘアメイクを終えた後、写真撮影のほか、フロアとウッドデッキに出て、近隣の人などに晴れの姿を披露します。コロナ対策として、家族にはタブレットを用意して中継するほか、動画投稿サイト「ユーチューブ（YouTube）」でも配信する予定です。野村准教授は「30歳若返りメイクで笑顔を増やしたい」と話しています。

記

- 日時 2022（令和4）年7月9日（土）午後1時～同3時
- 場所 グループホームせきの憩（関市下有知字糠塚 4154-1 電話 0575-24-5543）
- 予定 13:00 チームに分かれてメイクと着替え
14:00 ファッションショー開始（写真撮影・お披露目）
15:00 終了
- 参加者 リラクゼーションケアⅡ履修者9名ほか

【経 緯】

同学科のリラクゼーションケアⅡ（担当：野村敬子准教授）では、認知症高齢者に「若返りメイク」を施すことで、若い頃の輝いていた自分の記憶をよみがえらせ、ひと時でも当時の活気ある生活を取り戻すことができるように支援することを学んでいます。開催までの経緯は、今年度前期に同グループホームで出張授業を行ってきましたが、コロナ禍ではあるものの、「元気で生き生きと暮らしている様子を地域や家族に伝えたい」という施設の意向を受け、「授業の成果をカタチにしたい」という学生からの声から、ファッションショーの提案が生まれました。

（※）リラクゼーションケアⅡの授業は、ヘアメイクの応用技術を学ぶため、POLA エスティンゆなたの協力を得て、メイク用品や用具の提供と技術支援を受けて進めています。

【備 考】



フロンティアの介護グループホーム「せきの憩」コロナ対策

コロナ禍、家族はじめ地域の人たちの面会制限が約2年続き、2022年6月に面会制限を緩和したところですが、外部からの入室については検温や消毒はじめ、人数制限（1人の利用者に対し2名まで）を徹底し、コロナ感染拡大の防止に十分配慮しています。また、介護サービスのICT化を進めており、家族との面会は全居室に備え付けられているタブレットを活用しています。そのほか、空調の自動調整、センサーによる見守りなど安全・安心な環境が整備されています。

当日は、関係者は検温と消毒はもちろんのこと、マスクとフェイスシールドを着用します。居室の窓は開け、私語は控えるなど、感染対策には十分配慮し、時間内で終わられるように努めます。

以上

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学短期大学部 社会福祉学科（担当：野村敬子）Tel:0575-24-2211（代表）